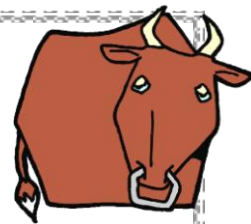
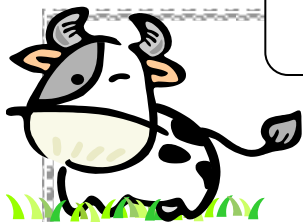


# 家畜衛生情報



## 冬季の衛生対策 ～消毒液の凍結防止～

朝晩冷え込むようになり、日中気温も上がらなくなってきました。  
気温が氷点下になると、消毒液が凍結してしまいます。

凍結すると消毒効果が得られませんので、消毒液が凍結しないよう適切な対応が必要です。

中国や台湾等の近隣諸国では、口蹄疫や鳥インフルエンザの発生が続いています。冬季は渡り鳥の飛来するシーズンで、鳥インフルエンザが侵入するリスクが非常に高くなりますので、警戒が必要です。

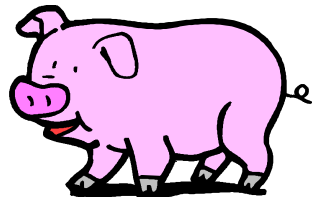
それぞれの農場の環境下で  
消毒液が凍らないよう工夫し、  
伝染病の侵入を防ぎましょう！

### 消石灰の使用

- 粉状なので凍結の心配が無い

### 消毒液の凍結防止

- ① 中蓋付の踏込み消毒槽の設置(裏面参照)
- ② 凍結防止剤の使用(裏面参照)
- ③ 消毒槽やタンクは屋内に設置
- ④ 車両消毒用の動力噴霧器に加温装置を設置

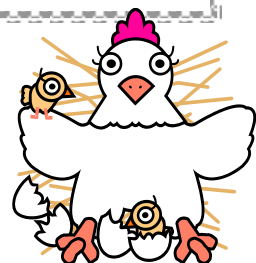


中濃家畜保健衛生所

〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井2610-1

TEL (0574)25-3111 FAX (0574)27-3092

E-mail : c24506@pref.gifu.lg.jp



# 冬季の消毒液の凍結防止対策

## ① 中蓋付の踏込み消毒槽を設置

- ・消毒液を毎朝作成し、夕方に排水
- ・作成時には35～40℃の温湯を使用

## ② 凍結防止剤の使用

- ・プロピレングリコール(PG)や冬用ウィンドーウォッシャ液(W液: -35℃対応)で消毒薬を希釈
- ・-20℃でも48時間以上凍結せず
- ・PGは粘性があるため、予め少量の水に消毒薬を溶かしてからPGを加える
- ・W液の主成分はメタノールのため引火性、揮発性、毒性があり取扱いに注意が必要
- ・消毒薬本来の使用方法ではないが、消毒効果に影響なし  
(北海道十勝家畜保健衛生所 齊藤ら)

### ワンポイント

踏込み消毒槽は、有機物が混入すると効力が低下しますので、長靴を洗浄して、汚れを落としてから入るようにして下さい。